



〈編集・発行〉
独立行政法人 国立病院機構
奈良医療センター
<https://nara.hosp.go.jp/>

りえぞん

Liaison

vol.53

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター

令和5年5月

医療関係者の皆様へ 「りえぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。
奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで名付けました。

病院理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、信頼される病院を目指します
患者第一、安心安全な先進医療を提供します

令和5年度 病院目標

呼吸器疾患と神経疾患を中心とした
「面倒見のいい病院」の機能を高める

満開の桜の下 笑顔のダブルピース



Contents

● 新年度を迎えて	2	● てんかん通信	4
● 部門紹介－手術室	3	● パープルデー催し	5
● JEPICA 総会 2023・第10回 てんかん学会に参加して	4	● 着任ご挨拶	5
		● 連携施設のご紹介コーナー VOL.15	6

新年度を迎えて

西川 俊之 事務部長



今年も、新採用や転勤等で新たな仲間を加えて、新年度がスタートしました。

思えば、この3年間は新型コロナウイルス感染症の蔓延で、新年度のスタートも、春だというのになにやら重苦しい雰囲気で、「今年度中に終息するのだろうか？」などと考えながら迎えていた気がします。

しかしながら、今年の春は3月にマスク規制が解除され（病院内はマスク着用継続！）5月の連休明けには感染症法上の位置づけが、2類相当（新型インフルエンザ等感染症）から5類（季節性インフルエンザと同じ）へ変更されることが決定するなど、一応の区切りが見えてきました。とはいいながら、当院には感染した場合の重症化リスクの高い方々がたくさん入院しておられます。法律上の取扱いが変わったからといって、ウイルスが無くなったり、感染しなくなったりするわけではありませんので、引き続き感染対策を施しながら病院運営に取り組んでいきたいと思います。

奈良医療センターでは春と言えば「さくら健康まつり」です。昨年までの3年間は開催できませんでした。しかしながら、今年は六条校区連合自治会の皆様と共に「今年は何とか開催したい」と考え、4年ぶりの開催に漕ぎ着けました。日程が3月25日しか無かったことで、「桜が咲いてくれるかな？ちょっと早いかな？」などと考え、名称を「春の健康まつり」に変更して準備をしていたのですが、まるでこの日に合わせてくれたかのように、例年より早く桜が開花し、当日には7～8部咲きとなりました。お天気も一週間前には雨の予報となっていて、大変心配していましたが、当日は曇り空ではありませんでしたが、雨が降ること無く終了することが出来ました。

さて、当院の「さくら健康まつり」もそうですが、3年間という長きにわたり、世界中が新型コロナウイルスに翻弄され、日本でも、元々マスク文化があったとは言え、ほぼ全国民が常にマスクをしているという異様な状況が続きました。3年間というと中学校や高等学校では入学してから卒業するまで素顔を見ることなく別れていく同級生が沢山居たことでしょう。

当院でも連携していただいている病院、診療所、福祉施設などへの訪問が思うように出来ていませんでした。本来ならばお伺いして直接情報交換したいケースでも、お電話でのやり取りやリモートでの打合せや会議が主流となってしまいました。これらの活動も新年度を迎え、感染対策の新たな局面に入ると共に活発化させて皆様との連携関係を強化して行きたいと考えています。



部門紹介

手術室看護師長 永井 里香

手術室

当院では、年間約200件の手術を行っています。

手術室は3部屋あり、5つの診療科の手術をしています。

1. **脳神経外科** 脳刺激装置埋め込み・交換術、機能的定位脳手術、血種除去術など
2. **整形外科** 人工関節手術、観血的骨接合術、手根管開放手術、腱鞘切開術など
3. **耳鼻科** 内視鏡下鼻・副鼻腔手術、腫瘍摘出術、鼻腔粘膜焼灼術、気管切開術など
4. **消化器外科** ヘルニア手術、胃瘻増設、内視鏡下胃瘻増設術、腸切除術など
5. **ペイン外科** 経皮的髄核摘出術、硬膜外椎間板ブロック、脊椎刺激装置埋め込み術など

基本的に平日毎日手術が行える体制をとっており、医師・看護師のほか、臨床工学技士・放射線技師・薬剤師も常駐しチームで様々な手術に対応しています。

手術を受けるということは、未知で不安なものです。そのような漠然とした不安を少しでも取り除き、安心して手術に臨んでいただきたいと思います。そのため当院では、入院前から外来受診の際に、入院支援センターで手術に対する準備や心構えなどを説明しています。また、手術室のスタッフが手術前後の訪問を実施し、手術を受ける方が安心して手術に臨んで頂くとともに良好な信頼関係を築くための体制をとっています。

手術前訪問では、手術室の様子を紹介し、手術に必要なことを一緒に確認させていただきます。心配なことや不安なことがあれば手術室スタッフにお尋ねください。

手術中にはBGMを流し、リラックスできる空間を提供しています。手術中にお聞きになりたい音楽がございましたら、手術室スタッフにお知らせください。



機能的定位脳手術中です。
臨床工学技士、作業療法士も関り実施しています。



手術を受ける前に医師と病棟看護師、手術室看護師で情報を共有しています。

JEPICA総会2023・ 第10回てんかん学会に参加して

3A病棟 増山 裕香

「JEPICA総会2023・第10回てんかん学会」に参加し、3A病棟にて取り組んだ看護研究の結果をポスター発表してきました。てんかん患者への退院指導増加のために病棟で取り組み、数例ながら増加させる事ができました。学会では様々な病院のてんかん看護につき発表を聞かせて頂くことができました。今回の経験を今後の病棟での看護へ活かしてゆきたいです。



てんかん通信

3月12日大和郡山市で
奈良県波の会主催の医療講演を行いました。



質問も活発にあり、おおよそ
30名の参加がありました。

医療講演会のご案内
てんかんを知ろう！
～みんなで支援するてんかん医療～

「てんかん診療拠点機関について」	13:10～13:20
奈良医療センター院長	平林秀裕先生
「てんかんと精神症状」	13:25～14:10
奈良医療センターてんかんセンター長	澤井康子先生
「てんかん患者をみんなで支えよう～バーブルデー～」	14:15～14:35
奈良医療センター地域医療連携係長	田中真りき看護部長
「てんかんと心理社会的支援」	14:40～15:00
奈良医療センター心理療法士	坂東和晃先生
～ 休 憩 ～	
◎質疑応答	15:20～16:00

日 時: 3月12日(日)13時～16時頃(受付開始12時30分～)
場 所: 大和郡山市 市民交流館(大和山駅 南側出口すぐ)
参加費: 無料(※、資料代として300円に協力願います)
※申込み3月28日まで
※定員(60名)にもり次第に締め切らせて頂きます。

後援: 奈良県立大学 国立奈良病院 奈良医療セン
ター 奈良県立大学 日本てんかん協会 奈良県医師会
お問い合わせ: TEL/FAX 9242-5811 5812 e-mail: hiroaki@nara-medical-center.or.jp

パープルデー催し



紫の花は
奈良東養護学校の
生徒さんが
協力して折って
くださいました。



3年ぶりに開催したさくら健康祭りではてんかんブースを設け、3月26日のパープルデーにちなんで廊下や玄関に紫の花で飾りつけを行いました。

また、3月26日には大和郡山市の協力の元、郡山城壁を紫色にライトアップしました。



当院は、てんかん支援拠点病院としててんかん患者さん、家族に寄り添います。

着任ご紹介



小児神経科 矢崎 耕太郎

2023年4月付けで小児神経科に着任いたしました。これまで大阪の急性期病院にて、一般小児科に加え、てんかん、神経筋疾患、発達障害などの小児神経疾患の診療を行ってまいりました。当院の強みであるてんかん、重症心身障がい児（者）医療を中心に、地域子どもたちのお役に立てるよう全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副看護部長 河寄 美子

2023年4月1日付で着任いたしました、副看護部長の河寄美子と申します。7年前ぶりに奈良医療センターへ帰ってまいりました。久しぶりに戻ってきました奈良医療センターの素晴らしい桜の景色を目にしたときは、故郷に帰ってきたようなとても穏やかな気持ちになりました。1日も早く職務に慣れて、奈良医療センターで皆さんと一緒に地域に求められる病院を目指していきたい気持ちは同じです。どうぞよろしくお願いいたします。

おざきクリニック

尾崎 拓郎 院長

平成9年6月に大和郡山市九条町に開業し、地域のかかりつけ医として小回りのきいた気配りのある医療をモットーに診療してきました。令和5年4月より院長は長男の尾崎拓郎が継承し、今後も地域の皆様のかかりつけ医として内科疾患はもちろんのこと、専門であるリウマチ・膠原病疾患の診療経験も活かして皆様の健康管理や疾患の早期発見及び早期診断治療のお手伝いをさせていただきます。また、高まる在宅医療のニーズに対しても今まで以上にご期待に応えていけるよう取り組んでいきます。診療体制の変更などで皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

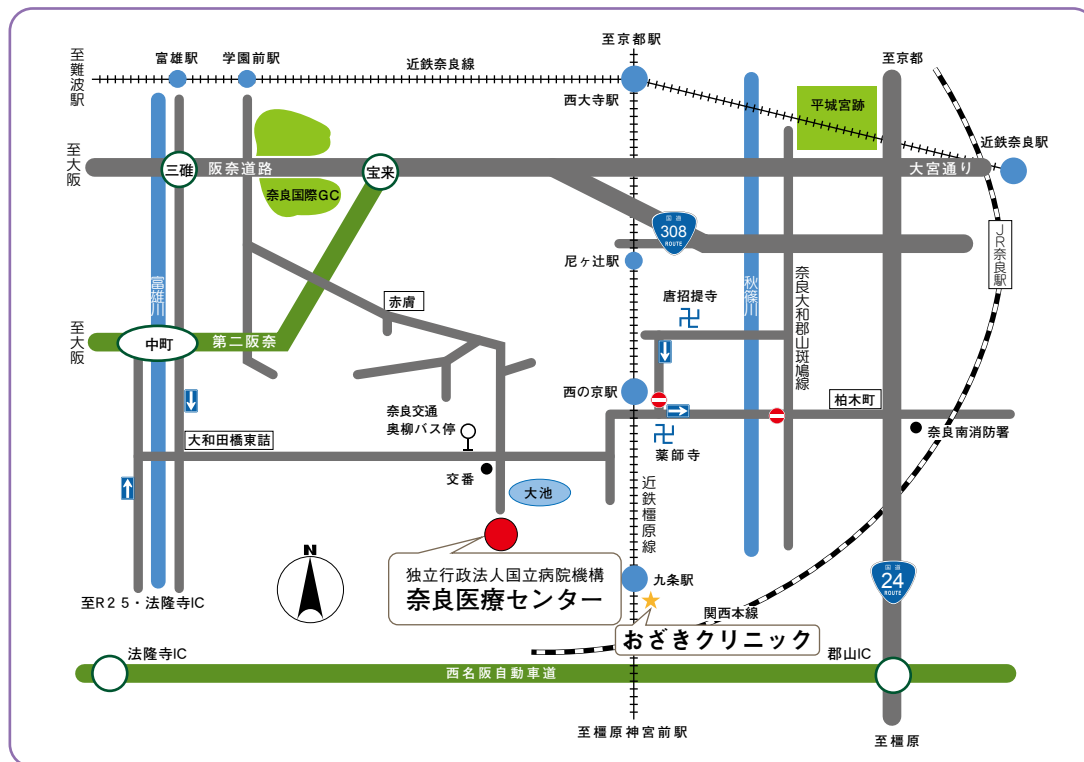


診療科目：内科・リウマチ科・訪問診療・小児科・リハビリテーション科

診療時間：月・水・金 午前9時～12時 午後16時30分～19時30分（19時受付終了）

火・木・土 午前9時～12時

休診日：日・祝日（在宅かかりつけ患者様の往診は随時行います）



独立行政法人 国立病院機構
奈良医療センター
地域医療連携室

〒630-8053
奈良市七条2丁目789
TEL.0742-45-4591（代表）
TEL.0742-45-1563（直通）
FAX.0742-45-4901（直通）